

平成29年度
(平成28年10月～平成29年9月)

環境活動レポート



八幡自動車工業

ロゴマークの説明

- ・グリーンの色は環境への優しさをイメージしています
- ・センターの白線は永遠に続く道をイメージしています
- ・イニシャルのYは工具で技術をイメージしています
- ・社名のグレーはエンジンのメタリックをイメージしています

作成日：平成30年2月20日

目次

1. 組織の概要
2. 経営理念・環境方針・環境活動・環境目標
3. 実施体制
4. 現状での改善課題と改善活動の行動指針
5. 環境目標
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果とその評価と
次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、控訴等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

1 事業者名および代表者名
有限会社 八幡自動車工業
代表取締役 井上 邦広

2 所在地
本社事業所：大分県大分市大字横瀬400番地の1
出先事業所：三菱ふそうトラックバス(株)大分支店内工場（但し管理の範囲からは除く）
出先事業所：UDトラックス(株)大分支店内工場（但し管理の範囲からは除く）

3 環境管理責任者氏名および担当者、連絡先
責任者 代表取締役 井上 邦広
担当者 工場長 丹生 英司
フロント 松原 努
営業 信岡 幸
業務 梶原 みなみ

連絡先 [TEL:097-542-3388](tel:097-542-3388)
FAX:097-542-1150
E-mail:info@yahatacars.com
URL:<http://www.yahatacars.com>

4 事業内容
自動車の板金塗装並びに整備
自動車の販売
自動車レンタル業
自動車部品の販売
損害保険代理業
生命保険の募集に関する業務
上記各号に附帯する一切の業務

5 事業規模

| 活動規模 | 単位 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-------|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高 | 百万円 | 233 | 244 | 240 | 247 | 294 |
| 従業員 | 人 | 23 | 24 | 23 | 26 | 27 |
| 本社事業所 | 人 | 20 | 20 | 20 | 24 | 24 |
| 延べ床面積 | m ² | 2595.81 | 2595.81 | 2595.81 | 2595.81 | 2595.81 |

6 事業年度
期首 10月1日
期末 9月30日

7 対象範囲
本社事業所での全活動

2. 経営理念・環境方針・環境活動・環境目標

◆経営理念

自動車業界を取り巻く環境は、経済の成長、科学の進歩とともに大きく変化しています。ますます便利になった自動車は、地球温暖化の元凶とされるCO₂を多く排出します。そこで各自動車メーカーはCO₂を削減させるためにハイブリッド車や燃料電池車(FCV)など次世代自動車を開発し提供しています。しかしまだ多くの自動車はガソリンや軽油などの化石燃料を必要としています。そこで適正なメンテナンスを行うことは、私たち整備工場はもちろんのことユーザー様にとっても社会的義務であるといえます。またCO₂の削減を計るということは、省燃費につながり経済的なメリットを得ることができます。そこで私たち八幡自動車工業の持てる技術と経験、ネットワークや情報をフルに活用してユーザー様に効果的なサービスを提供することは私たちに課せられたミッション（使命）です。そして、その使命を果たすことによって美しい自然を未来の子供たちに残り、ユーザー様に喜ばれ、そして企業として成長することで社員や家族の夢を実現させることができると確信しています。

「環境に優しく、お客様に喜ばれ、社員に愛される会社を目指す。夢の実現へ!!」

◆環境方針

自動車が地球環境に及ぼす影響は製造過程からその使用に至るまで非常に大きいといえます。そこで自動車整備を任されている事業者として地球環境の保全、さらに向上を目指すために環境目標を定め、達成に向けた環境活動を推進いたします。

◆環境活動

- 1 事業活動に関する環境法規およびその他の要求事項を遵守します。
- 2 環境目標を定めて、定期的に見直し、継続的改善に取り組みます。
- 3 環境負荷の低減、地球環境を保全するために次の活動を推進します。
 - i) 報告・連絡・相談・声掛け・指示
 - ii) 車輛の入れ替え・駐車
 - iii) 部品手配・イラスト手配
 - iv) 5S運動
 - v) エコ活動
- 4 環境方針を全従業員に周知させるための教育を積極的に行います。
- 5 環境方針はすべての方に開示します。

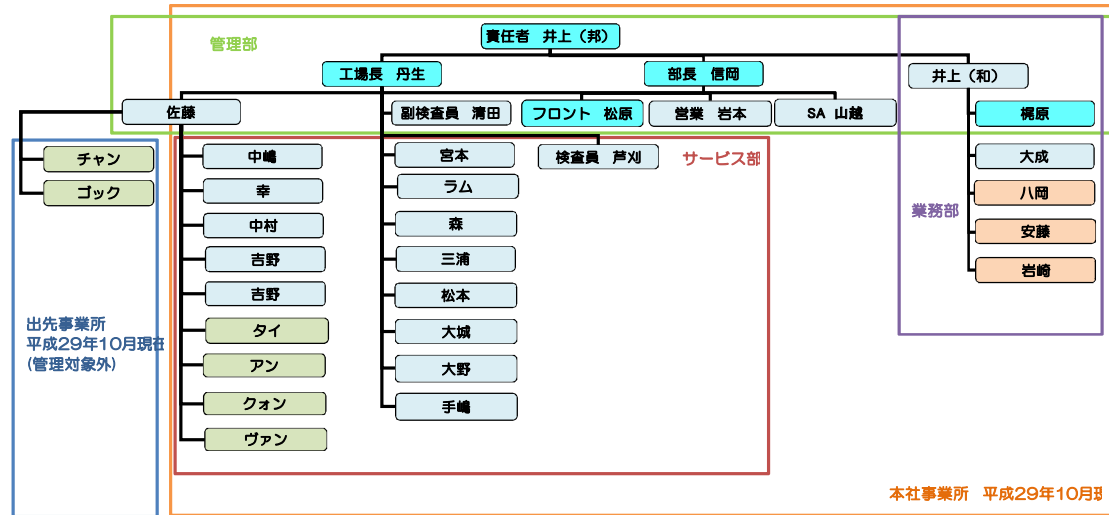
◆環境目標（環境負荷）

- 1 二酸化炭素排出量の削減
- 2 電気使用量の削減
- 3 ガソリン使用量の削減
- 4 軽油使用量の削減
- 5 廃棄物排出の削減
- 6 水使用量の削減
- 7 グリーン製品の購入
- 8 環境啓発活動
- 9 化学物質の適切な管理

平成25年9月1日

有限会社 八幡自動車工業
代表取締役 井上邦広

3. 実施体制



役割と責任

| | | |
|---------|-------|---|
| 代表者 | 井上(邦) | <ul style="list-style-type: none"> ①環境経営の最高責任者 ②環境方針の制定、環境目標及び環境活動の承認 ③環境経営システムの評価、全般的な見直し ④環境活動計画の承認 ⑤環境管理責任者の任命 |
| 環境管理責任者 | 井上(邦) | <ul style="list-style-type: none"> ①環境経営システム全体の構築・運営の責任者 ②環境経営システム実績等の代表者への報告 ③環境目標、環境活動及び環境活動計画書の確認、指示 ④環境目標、環境活動計画の進捗確認と修正の指示・実施 ⑤環境経営システムに関する問題の明確化と記録の総括 ⑥環境情報の外部への連絡 ⑦環境活動レポートの作成 ⑧教育と訓練の総括 ⑨緊急事態発生時の判断 |
| 担当者 | 梶原 | <ul style="list-style-type: none"> ①環境管理責任者の代行及び環境活動の全社的な推進 ②環境データの取りまとめ(集計) ③環境文書発行・管理の実務 ④その他、EA21事務全般 |
| 社員 | | <ul style="list-style-type: none"> ①環境方針、目標の理解 ②環境活動の理解と実施 ③環境法規制の遵守 ④緊急事態の予防策、対応策の実施 ⑤内部コミュニケーションの実施 ⑥改善の為に提案 |

4. 現状での改善課題と改善活動の行動指針



5. 環境目標

| 環境目標 | 単位 | 場所 | 基準年 | 初年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 |
|-----------------------|--------------------|-------|--------------------------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| | | | 24年10月～25年9月 | 25年10月～26年9月 | 26年10月～27年9月 | 27年10月～28年9月 | 28年10月～29年10月 |
| | | | <実績値> | <目標値> | <目標値> | <目標値> | <目標値> |
| | | | 年度の総量 | 年度の総量 | 年度の総量 | 年度の総量 | 年度の総量 |
| CO ₂ 排出量削減 | kg-CO ₂ | 本社事業所 | 73,861 | 73,122 | 72,383 | 71,645 | 70,928 |
| 電気使用量削減 | kWh | 本社事業所 | 95,538 | 94,583 | 93,627 | 92,672 | 91,745 |
| LPガス使用量削減 | m ³ | 本社事業所 | 42.80 | 42.37 | 41.94 | 41.52 | 41.10 |
| ガソリン使用量削減 | ℓ | 本社事業所 | 9,618 | 9,522 | 9,426 | 9,329 | 9,236 |
| 軽油使用量削減 | ℓ | 本社事業所 | 5,571 | 5,515 | 5,460 | 5,404 | 5,350 |
| 廃棄物排出量削減 | t | 本社事業所 | 21.90 | 21.68 | 21.46 | 21.24 | 21.03 |
| 水使用量削減 | m ³ | 本社事業所 | 209 | 207 | 205 | 203 | 201 |
| 化学物質の管理 | kg | 本社事業所 | 1,884 | 1,865 | 1,846 | 1,827 | 1,809 |
| グリーン購入 | リスト数 | 本社事業所 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| | 説明 | | ・作業服 ・リサイクル部品 ・ASKUL事務用品 | ・新規取り組み | ・新規取り組み | ・新規取り組み | ・新規取り組み |
| 環境啓発活動 | 件 | 本社事業所 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| | 説明 | | ・月2回の交差点清掃 | ・新規取り組み | ・新規取り組み | ・新規取り組み | ・新規取り組み |
| 売上実績 | 千円 | 本社事業所 | 190,192 | 192,094 | 194,015 | 195,955 | 197,915 |
| 在庫台数 | 台 | 本社事業所 | 3,646 | 3,682 | 3,719 | 3,756 | 3,794 |

(注記) 電気の二酸化炭素排出係数は平成22年度の九州電力の二酸化炭素実排出係数0.385を使用削減対象の数値目標は、基準年度に対して初年度-1%、2年度-2%、3年度-3%とする。その他の目標課題は、達成目標値を示す。

6-1. 環境目標の実績

| 環境目標 | 単位 | 場所 | 基準年 H24年10月 ~H25年9月 実績値 | 2年度 H26年10月 ~H27年9月 実績値 | 3年度 H27年10月 ~H28年9月 実績値 | 4年度 H28年10月 ~H29年9月 目標値 | 4年度 H28年10月 ~H29年9月 実績値 | 目標達成 の判定 |
|----------------|--------------------|---------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------------|
| 二酸化炭素 排出量削減 | kg-CO ₂ | 本社事業所 | 73,861 | 66,180 | 71,176 | 70,928 | 70,822 | ○ |
| | | (目標削減値) | | | | 2,932 | 100% | |
| 電気使用量 削減 | kWh | 本社事業所 | 95,538 | 80,542 | 89,976 | 91,745 | 82,632 | ○ |
| | | (目標削減値) | | | | 3,793 | 92% | |
| LPガス使 用量削減 | m ³ | 本社事業所 | 43 | 44 | 35 | 41 | 39 | ○ |
| | | (目標削減値) | | | | 2 | 113% | |
| ガソリン使 用量削減 | ℓ | 本社事業所 | 9,618 | 9,472 | 7,860 | 9,236 | 7,630 | ○ |
| | | (目標削減値) | | | | 382 | 97% | |
| 軽油使用量 削減 | ℓ | 本社事業所 | 5,571 | 4,928 | 6,929 | 5,350 | 8,069 | × |
| | | (目標削減値) | | | | 221 | 116% | |
| 廃棄物排出 量削減 | t | 本社事業所 | 22 | 15 | 18 | 21 | 25 | × |
| | | (目標削減値) | | | | 1 | 139% | |
| 水使用量削 減 | m ³ | 本社事業所 | 209 | 202 | 242 | 201 | 301 | × |
| | | (目標削減値) | | | | 8 | 124% | |
| 化学物質の 管理 | kg | 本社事業所 | 1,884 | 1,328 | 1,349 | 1,809 | 986 | ○ |
| | | (目標削減値) | | | | 75 | 73% | |
| 環境啓発活 動 | 件 | 本社事業所 | 24 | 27 | 27 | 30 | 30 | ○ |
| | | (目標増加数) | | | | 6 | 111% | |
| グリーン購 入 | リスト数 | 本社事業所 | 3 | 5 | 6 | 7 | 7 | ○ |
| | | (目標増加数) | | | | 4 | 117% | |
| 売上実績 | 千円 | 本社事業所 | 190,192 | 201,306 | 211,058 | 197,915 | 227,340 | ○ |
| | | (目標増加額) | | | | 7,723 | 108% | |
| 入庫台数 | 台 | 本社事業所 | 3,646 | 3,332 | 3,483 | 3,794 | 3,761 | ○ |
| | | (目標増加数) | | | | 148 | 108% | |

(注記) 実績値及び目標値は、期間の実数合計値とする。

6-2. 入庫台数あたりの環境負荷実績

| 環境目標 | 単位 | 基準年 H24年10月 ~H25年9月 実績値 | 2年度 H26年10月 ~H27年9月 実績値 | 3年度 H27年10月 ~H28年9月 実績値 | 4年度 H28年10月 ~H29年9月 目標値 | 4年度 H28年10月 ~H29年9月 実績値 |
|----------------|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 二酸化炭素 排出量削減 | kg-CO ₂ /台 | 20.26 | 19.86 | 20.44 | 18.69 | 18.83 |
| | | | | | 1.17 | 92% |
| 電気使用量 削減 | kWh/台 | 26.20 | 24.17 | 25.83 | 24.18 | 21.97 |
| | | | | | -0.01 | 85% |
| LPガス使 用量削減 | m ³ /台 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| | | | | | 0.00 | 104% |
| ガソリン使 用量削減 | ℓ/台 | 2.64 | 2.84 | 2.26 | 2.43 | 2.03 |
| | | | | | 0.41 | 90% |
| 軽油使用量 削減 | ℓ/台 | 1.53 | 1.48 | 1.99 | 1.41 | 2.15 |
| | | | | | 0.07 | 108% |
| 廃棄物排出 量削減 | kg/台 | 6.01 | 4.50 | 5.17 | 5.54 | 6.65 |
| | | | | | -1.04 | 129% |
| 水使用量削 減 | m ³ /台 | 0.06 | 0.06 | 0.07 | 0.05 | 0.08 |
| | | | | | 0.01 | 115% |
| 化学物質の 管理 | kg/台 | 0.52 | 0.40 | 0.39 | 0.48 | 0.26 |
| | | | | | -0.08 | 68% |
| 環境啓発活 動 | 件/台 | 0.01 | | 0.01 | 0.01 | |
| | | | 0.00 | | 0.01 | 0.00 |
| グリーン購 入 | リスト 数/台 | 0.00 | | 0.00 | 0.00 | |
| | | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 売上実績 | 千円/台 | 52.16 | 60.42 | 60.60 | 52.16 | 60.45 |
| | | | | | -8.25 | 100% |
| 入庫台数 | 台 | 3646.00 | 3,332.00 | 3,483.00 | 3,794.04 | 3,761.00 |
| | | | | | 462.04 | 108% |

7. 環境活動計画の取組結果とその評価と次年度の取組内容

7-1. 改善活動の取り組み結果

| 取組内容 | | | |
|--|-----|---|-----------------------|
| 報告・連絡・相談・声掛け・指示 | 整備 | △ | 早くに報告があがらないことがある |
| 不具合報告・作業終了報告・ライン完成報告・作業指示・相談事・クレーム報告・仕損じ報告を素早くできていますか？ | 飯金 | ○ | |
| | 事務所 | △ | 情報共有がきちんとできていないことがある |
| 車両の入替え・車両の駐車 | 整備 | △ | 帰り際にきちんとできていない |
| 車両の入替え設置は毎日帰りにしてありますか？引取り車両は打合せをしておりますか？ | 飯金 | ○ | |
| | 事務所 | ○ | |
| 部品手配・イラスト手配 | 整備 | ○ | |
| 部品手配は追加報告手配、発注忘れ、発注ミスなく出来てますか？イラスト手配は素早く出来ていますか？部品納期の伝達は出来ていますか？ | 飯金 | ○ | |
| | 事務所 | ○ | |
| 5S運動 | 整備 | △ | 整理されている場所とされていない場所がある |
| 整理・整頓・清掃・いらない部品の処分は出来ていますか？部品、工具、材料は探し回ること無かったですか？ | 飯金 | △ | 後片付けがきちんとできていない時がある |
| | 事務所 | △ | きちんと整理できてないことがある |
| エコ活動 | 整備 | ○ | |
| 部品庫、工場、事務所内の人の居ない場所や昼休みは節電をしていますか？消耗品のエコ活動は徹底してありますか？ | 飯金 | ○ | |
| | 事務所 | ○ | |

2. 評価と次年度への課題

①二酸化炭素排出量の削減

電気使用量は工場内照明を省電力タイプに交換した効果などで前年を下回ることができた。年間ではエアコン稼働が影響する夏時期がピークとなっているので省電力タイプのエアコンに更新することを検討する。LPガスは冬場で作業員の手洗いなどが増えたことによるが次年度も厳冬で今後増えていくことが予想される。ガソリンの使用量は前年と対比しても数値は安定していることからエコに対する意識は浸透しているといえる。軽油は前年同様にレンタカー事業によるもので稼働が増えたため使用量も増加傾向にある。入庫台数が増加したため台あたりの排出量は前年比で減少したが目標には届かなかった。次年度については2017年度ガイドラインを採用することとし、あわせて目標値の見直しを行う。

②廃棄物の削減

金属くずはリサイクル品として処分されていることから2017年2月以降マニフェストの報告項目から除いた。そのほかの廃棄物は前年比で入庫台数の増加に伴い汚泥とガラス類を除いて増加した。特に車検台数の増加で廃油、廃アルカリが増加した。これらは事業内での再利用が不可能なため今後は項目別に目標値を見直し管理していく。

③水使用量の削減

昨年同様に目標を上回る。7～8月に洗車用に使用する地下水のパイプ詰まりが発生したため上水を大量使用していた事が要因と思われる。これは現場スタッフがトラブルについて報告を上げず、対策が遅れた事による。

④化学物質排出量の削減

昨年よりもさらに受注が減少したため排出量も大幅に削減された。他の環境負荷項目と同様で目標値の見直し管理していく。

⑤グリーン購入の推進

帳票類・封筒・ユニフォームの購入。

⑥環境啓発活動

月二回の周辺道路・交差点の自主清掃活動の継続。整備振興会主催の清掃ボランティア活動への参加。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境法規は環境法規登録表により遵守評価を実施しています。
遵守評価の結果、環境法規制の違反はありません。
関係機関からの指導や指摘はありません。
利害関係者からの苦情や訴訟はありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

9-1. 代表者による全体評価

本年度も引き続き基準年実績をベースに4%削減を目標とした。代表値となる、二酸化炭素排出量は目標を達成することができた。電気使用量や社用車のガソリン使用量などの減少など職員一人一人のエコに対する意識が向上してきたと評価できる。しかし水使用量増加などトラブルに対して報連相が機能していないことも分かった。チェックを行う担当者がトラブルによる影響について認識がなく、また役割について十分に理解されていないことによると思われる。何のための目標値なのか、その目標を達成させるために何をしていかなければならないのか、確実に実行されているのかチェックを行いトラブル発生の際にはどのように対処すべきかなどのPDCAについて繰り返し浸透させることが必要である。エコアクション導入から5年目となる次年度で社員への再確認を取り組んでいく。また目標値の見直しと、在庫台数による個別目標管理から、作業実績台数による個別目標管理に切り替えを行う。

9-2. 見直しの結果

| 項目 | 見直しの結果 |
|----------------|--------|
| 環境方針 | 継続する。 |
| 環境目標 | 見直す。 |
| 環境活動 | 継続する。 |
| マネジメントシステムの仕組み | 継続する。 |

平成30年3月13日
代表取締役 井上 邦広